

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から2か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ：まね

猿まね、パクリ、二番煎じ…まねに関する悪い印象の言葉はたくさんありますが、まねは自分を成長させたり、人を楽しませたりすることもあります。まねの様々な側面について考えるきっかけになる本を集めました。

▶ リストの見方

No.	書名 (あれば巻号) 著者名(出版者, 出版年) 【調べものの部屋請求記号】	【 】の中は、調べものの部屋のどこにあるかを示す請求記号 (日本十進分類法を使用) です。
-----	---	---

▶ まねて学ぶ

1	まねる力：模倣こそが創造である (朝日新書；628) 齋藤孝 著 (朝日新聞出版, 2017.8) 【141.3】	教育学が専門の著者は、人をよく見て本質を掴み、自分のものにする「まねる力」が生きる上で不可欠だとして、まねる技術やまねるべき優れた先人を紹介しています。
2	まねが育むヒトの心 (岩波ジュニア新書；728) 明和政子 著 (岩波書店, 2012.11) 【143】	「猿まね」という言葉がありますが、実は大人のサルはまねをしません。一方で、人間には赤ちゃんの頃からまねる力が備わっていて、心の発達に重要な役割を果たします。本書では、サル等と人間の赤ちゃんを比較して人間の心の成り立ちを探ります。
3	レプリカ：真似るは学ぶ (INAX booklet) INAXギャラリー企画委員会 企画 (INAX出版, 2006.3) 【709】	博物館等で制作される収蔵品のレプリカは、展示だけでなく研究にも役立っています。埋蔵状況の解明のために錆まで正確に写し取られた銅鏡や、途絶えた技法の再現にこだわった仏像など、様々なレプリカの制作過程を紹介しています。

▶ まねてだます

4	擬態生物図鑑：華麗に変身するいきもの：“図鑑”史上初!隠れ生物たちをクイズ形式で大量掲載!：超変身!隠れ生物を探せ!! 「擬態生物」研究会 著 (笠倉出版社, 2014.2) 【481.7】	植物や岩、危険な生物などに姿を似せて見る者をだますことで、身を守ったり、狩りを有利にしたりする生物もいます。写真から生き物を探すクイズが多数掲載されているので、挑戦してみましょう。
5	コインと紙幣の事典 (「知」のビジュアル百科；30) ジョー・クリブ 著, 湯本豪一 日本語版監修 (あすなろ書房, 2006.9) 【337.2】	お金の偽造は世界中で重い罪とされてきたにも関わらず、様々な方法で行われてきました。手書きで模写した紙幣や、大胆にも架空の銀行名が印字された紙幣など、偽造貨幣の写真が掲載されています。

▶ まねて魅せる

6	〈ものまね〉の歴史：仏教・笑い・芸能 (歴史文化ライブラリー；448) 石井公成 著 (吉川弘文館, 2017.6) 【779.1】	まねは人を楽しませる芸能の中にも見つけることができます。伎楽や能、歌舞伎、落語などを通じて現代まで続くものまねの歴史について解説しています。
---	---	--

▶ まねとルール

7	はじめての著作権法 (日経文庫；1382) 池村聡 著 (日本経済新聞出版社, 2018.1) 【021.2】	著作権法とは、文芸や絵画、音楽などの作品の作者の権利を守る法律です。不用意なまねが法律に触れる場合もあるので、基本的なルールは知っておきましょう。
---	--	---

▶ まねと科学技術

8	ヤモリの指から不思議なテープ：自然に学んだすごい!技術 松田素子, 江口絵理 文, 西澤真樹子 絵, 石田秀輝 監修 (アリス館, 2011.12) 【507.1】	人間が動物や植物などが持つ優れた仕組みをまねて、科学技術を発展させることもあります。何にでもくっつくヤモリの指をまねたテープ、刺されても痛くない蚊の針をまねた注射針など様々な事例を掲載しています。
9	脂肪の歴史 (「食」の図書館) ミシェル・フィリポフ 著, 服部千佳子 訳 (原書房, 2016.10) 【576.1】	科学技術の発展によって、もともとあるものとよく似た代替品が開発されるようになりました。高価なバターの代替品のマーガリンや、カロリーゼロの脂肪模倣品などが紹介されています。代替品はどのように世間に受けとめられたのでしょうか？

▶ まねがキーワードになる文豪の作品

10	菊池寛全集 第1巻 菊池寛 著 (高松市菊池寛記念館, 1993.11) 【913.6-キク】	カトリックの聖人、アッシジの聖フランチェスコを題材とした戯曲『真似』が収録されています。フランチェスコのような偉大な聖人になりたいと考えた農夫ジョバンニが、フランチェスコに弟子入りし、その一挙一動をまねる姿が笑いを誘います。
----	--	--

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。 (<http://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html>)